

# ふくしま映画塾作品一覧

2009年

開催地：二本松市

作品共通テーマ【生きるチカラ】



A班 瀬木指導監督  
「HANAMARU」



B班 向井指導監督  
「熱すぎて、夏」



C班 我妻指導監督  
「からばかダッシュ!!」



D班 西海指導監督  
「青空外伝 ときどき雨」



E班 横井指導監督  
「キューカンバーハート」

いよいよ、ふくしま映画塾が開幕しました。初めて出会ったメンバーによって3日間で映画を作るという試みに、講師陣も塾生も戸惑い気味のスタートでしたが、3日目の発表会は熱気と満足感にあふれました。作品も多様で、考え抜かれたアイデアに満ちていました。

2010年

開催地：ホテル白雲荘

作品共通テーマ【生きるチカラ】



A班 瀬木指導監督  
「キルヒル Kill Hiru」



B班 我妻指導監督  
「生き抜け！美樹子」



C班 渡辺指導監督  
「届かぬ想い」



D班 向井指導監督  
「ドキドキ  
ほりだしモンブラン」



E班 元木指導監督  
「NUKEGARA  
～抜け殻～」

2回目の開催で、一期生の中から再度の参加もあり、新規に参加の塾生との協力関係も早々に築かれ、充実した作品群となりました。裏磐梯というロケーションも関係しているのか、少しシュールな題材がそろいましたが、アイデアの発想、その処理の仕方は、班によって多様で、興味深い作品が並びました。

2011年

開催地：かんぽの宿いわき

作品共通テーマ【福島～揺るがない思い～】



A班 瀬木指導監督  
「後ろ向きの男」



B班 向井指導監督  
「みなさ〜ん幸せでございまっしゅか〜ん」



C班 西海指導監督  
「来ちゃったよ、ふくしま♡」



D班 我妻指導監督  
「しっかりしんさい。」

震災後初のふくしま映画塾は、いわきが舞台となりました。時節柄、何らかの形で震災が題材として取り上げられました。もちろん、東日本大震災は広範囲に被害を及ぼし、その種類も多様であったことから、映画とするにはそれぞれの葛藤が見え隠れしています。それでも、SFファンタジーからラブ・ロマンス、ロード・ムービーなど、その葛藤が見事に実を結んだ作品群となりました。

# ふくしま映画塾作品一覧

2012年

開催地：二本松市



A班 山村指導監督  
「一日家族」



B班 下山指導監督  
「Happy Island」

作品共通テーマ【家族】

再び二本松を舞台にした映画塾では、家族をテーマに取り上げました。依然として震災の傷跡の残る各地を背景にしながら、家族の繋がりをあらためて振り返る作品がそろいました。すでに複数回経験されている塾生も多く、ロケーション選びも工夫され、ストーリーも多彩に展開されるようになりました。

2013年

開催地：福島大学



A班 瀬木指導監督  
「ビタミンL」



B班 深作指導監督  
「ふく桃がたり」



C班 横井指導監督  
「Catch the moment」

作品共通テーマ【ラブ・ストーリーズ】

ふくしま映画塾、大学生篇のスタートです。福島大学を中心に、各大学から集った大学生たちが、等身大の希望や悩みを込めて、ストーリーを展開していきました。同世代の議論を通じて、人間関係、恋愛や就職など、身近な問題をあらためて見つめることで、作品に深みが増していきました。

2014年

開催地：二本松市



A班 横井指導監督  
「ありがとうOちゃん」



B班 西海指導監督  
「河のきゅうびっど」

作品共通テーマ【ありがとう】

今回は、福島県内の多様な大学から参加者を得ました。さまざまなすれ違いからぎくしゃくしがちな人間関係を捉え直すことで、自分自身の来し方、それに周囲の人々がどのように関わってきたかを、人生の1ページとして鮮やかに見つめる作品が生まれました。職人の父の仕事場、河童のいる風景など、ロケーション選びにも工夫が施されていました。

2015年

開催地：磐梯熱海温泉華の湯



A班 横井指導監督  
「さんかくのきずな」



B班 西海指導監督  
「まじかよ、優子ちゃん  
全然笑わないじゃん…」

作品共通テーマ【絆】

磐梯熱海の緑あふれる風景を舞台に、今回も福島県内の大学生が集いました。三角関係に苦悩したり、キョウダイの絆を再確認したりと、大学生ならではの発想を膨らませながら、ユーモアあふれる表現法も目をひくものでした。磐梯熱海の環境を十分に意識した脚本と撮影法も見事でした。

# ふくしま映画塾作品一覧

2016年

開催地：裏磐梯 レイクリゾート

作品共通テーマ【水と緑のシンフォニー】



A班 下山指導監督  
「ここにあるもの」



B班 石川指導監督  
「たからさがし」



C班 横井指導監督  
「-Forest-」

裏磐梯のロケーションを巧みに利用して、3つのストーリーが生まれました。将来への不安、友達との関係、家族への思いなど、それぞれが抱えている切実な問題を物語にしながら、自然あふれる背景の生かし方も見事でした。

2017年

開催地：二本松市

作品共通テーマ【天気】



A班 下山指導監督  
「雨が降るまで」



B班 横井指導監督  
「うん、知ってるよ。」

二本松の岳温泉を舞台に、2つのストーリーが刻まれました。伝えたい思い、伝わらない思いが交錯してはすれ違う、すれ違ってはまた近づいていく、若者たちのもどかしさが高まっていく先に、何かの奇跡が生まれるかもしれない。雨降らしや小道具の使い方も的を射ていました。

2018年

開催地：福島大学

作品共通テーマ【地域、ふるさと】



A班 池谷指導監督  
「大学遭難」



B班 丸山指導監督  
「道の途中、友と」

猛暑の福島大学を舞台に、大学生主体に2本の作品が生まれました。大学というものを少しブラックな視線で見つめ直す物語、将来の進路選択に悩む若者たちを描く物語、大学生ならではのユニークな物語が並びます。とにかく暑い3日間でしたが、若者たちの熱気がそれを上回りました。

2019年

開催地：福島大学

作品共通テーマ【よろめき】



A班 下山指導監督  
「藍情」



B班 西海指導監督  
「老いるショック！」

今回も福島大学生を主体に2本の作品が生まれました。見慣れた大学の風景も、カメラのファインダーを通して見ると、別のもののように見えます。そして、そこに物語や思い入れのこもった大道具・小道具を用意することで、さらに新鮮な光景となります。映像の工夫が年々、深まってくると感じられた年でした。

# ふくしま映画塾作品一覧

2020年

開催地：田村市

作品共通テーマ【田村市のPR】



A班 永田指導監督  
「わすれもの」



B班 横井指導監督  
「青春のおすそわけポンポンポン!!」

全国から応募いただいた大学生と、田村市の高校生が一体となって、田村市のPR作品に取り組みました。初めて田村市を訪れた大学生と地元を知り尽くした高校生が、一緒に作品を作ることで、よくあるような地元PRとは違う、不思議な余韻を残す2本の作品が生まれました。とりわけ、高校生たちが3日間の中に急成長、作品づくりの核となりました。

2021年

開催地：天栄村

作品共通テーマ【村の物語】



A班 永田指導監督  
「仲よし4人の  
天栄村大冒険～冬編～」



B班 阿部指導監督  
「自然を取り戻す勇者  
～天栄村の物語～」



C班 下山指導監督  
「ユグドラシルの望み」

真冬の天栄村で、小学生、中学生、大学生と一緒に3作品が生まれました。天栄地区、湯本地区それぞれのこどもたちが、ふるさとにむけた思いがそれぞれに込められています。豊かな自然を維持していくことには、絶えざる努力が必要なことを、こどもたちはすでに知り抜いているように見えます。表情豊かな演技力も魅力です。

# こども映画夏祭り

2011年



## 映画「忍たま乱太郎」プレミア上映会！

映画学校の開催に先駆ける2011年7月16日。  
 県最大の避難施設 福島ビッグパレット で映画「忍たま乱太郎」のプレミア上映会が開かれました。  
 会場は上映だけでなく、実際の映画スタッフによる「忍たま乱太郎」なりきりブースや、楽映舎スタッフによる「たこ焼き」など露店も多く開かれ、大きな賑わいを見せました。

# こども映画学校作品一覧

2012年

開催地：豊間小学校

作品共通テーマ【20年後の私からのラブ・ソング】



A班 辻指導監督  
 「ボクたちはワタシたちは  
 しょうらいどんなおとなに  
 なるだろう？」



B班 横井指導監督  
 「サイコーでサイターの  
 放課後」



C班 高明指導監督  
 「あくにん」



D班 多胡指導監督  
 「豊間小学校にあった  
 本当に怖い話」



E班 西前指導監督  
 「未来からのおくりもの」

記念すべき、こども映画学校最初の取り組みです。当初の予想よりはるかに多い1年生から6年生まで、およそ60人の参加を得て、急遽5班体制をとりました。20年後の自分はどうなっているか、そして、20年後の自分が今の自分に何と声をかけるかを想像するというテーマのもと多彩な作品がそろいました。

# こども映画学校作品一覧

2013年

開催地：田人第一小学校

作品共通テーマ【田人の自慢】



A班 辻指導監督  
「小学生の神かくし」



B班 瀬木指導監督  
「ヒミツの扉  
未来からのおくりもの」



C班 萩庭指導監督  
「やくそく」



D班 高明指導監督  
「田人神話  
～神様たちの戦い～」



E班 下山指導監督  
「田人の旅人」

田人小学校の1年生から6年生までが、自分たちの調べた田人の自慢を物語に載せて表現しました。自然の風景、神話や伝承、おいしい食べ物など、田人の魅力がいっぱい詰まった5作品が生まれました。年長のこどもたちが、年少のこどもたちを気づかいながら映画作りに取り組んだ、その優しさが各作品にも十分に表れています。

開催地：豊間小学校

作品共通テーマ【豊間の自慢】



A班 瀬木指導監督  
「十年後の再会」



B班 萩庭指導監督  
「ししまいの夏」

再び豊間小学校を訪れました。震災前とは、生活環境も目に見える風景も一変してしまったけれど、自分たちの心に残る思い出は変わらない、そんな思いの詰まった2作品となりました。たぶん、10年後、20年後に、再会して作品を見返したら、また、あの頃に戻って笑い合える作品です。

2014年

開催地：豊間小学校

作品共通テーマ【HIMITSU】



A班 萩庭指導監督  
寿大副指導監督  
「HIMITSU」



B班 萩庭指導監督  
西村副指導監督  
「HIMITSU」

豊間小学校の5年生と作った作品です。こどもたちが考えた脚本をもとに、同一の脚本で2チームに分かれて撮影、編集を行いました。同じ脚本でも、撮り方や編集の組み合わせによって、作品はどう違ってくるのだろうかという学習でもあると同時に、こどもたちが生まれ育った地域に向けた思いがひしひしと伝わってくる作品です。

# こども映画学校作品一覧

2017年

開催地：桧沢小学校

作品共通テーマ【私たちの未来】



A班 下山指導監督  
「十年後の約束」



B班 山口指導監督  
「姫&王子とみんなの不思議な1日」

桧沢小学校の6年生と一緒に作品作りです。何より、こどもたちの演技力に脱帽の年です。こどもたちが自分たちのふるさとに並々ならぬ思いを抱いていることが如実に伝わってくる作品です。思わず、うるっとしてしまうような物語を考えて、それを的確に演じきりました。

2018年

開催地：新地小学校

作品共通テーマ【ふるさと】



A班 横井指導監督  
「みんなの思い出」



B班 平野指導監督  
「仲間からのエール」



C班 久保田指導監督

「笑顔の絶えない新地街」

卒業を間近に控えた新地小学校6年生と取り組んだ3作品です。進学を控え、これまで培ってきた友情がどうなってしまうのか、再会したとき以前と変わらず振る舞えるのかなど、こどもたちの切実な意識が作品のそこかしこに現れています。こどもたちが愛する鹿狼山や海辺の風景も印象的でした。

2019年

開催地：新地小学校

作品共通テーマ【ときめき】



A班 下山指導監督  
「すれちがったキズナ」



B班 熊澤指導監督  
「バトン」



D班 横井指導監督  
「トキメキをもどす旅」



C班 西海指導監督  
「野口英世物語  
～タピオカでつながる想い～」

身近なものに対する自分の「ときめき」を探して、それを物語にしてみようというテーマのもと、新地小学校の6年生と取り組んだ作品です。それぞれの「ときめき」の具体的対象は異なるけれど、こどもたちにとって何よりときめくのは、友人との繋がりであるのかもしれない。

# こども映画学校作品一覧

2020年

開催地：新地小学校

作品共通テーマ【10年後の未来】



A班 永田指導監督  
「うみをこえて」



B班 西海指導監督  
「夢へ走る！」



C班 江良指導監督  
「10年後の自分たちに」

「10年後の未来」というテーマで、新地小学校の6年生と取り組んだ3作品です。将来の理想像を描く班と、なりたくない大人を描く班に分かれたのが印象的でした。一方、全ての作品に共通するのは、海岸で撮影を行ったことです。「海に対するイメージが、津波の恐怖から、映画作りの楽しい思い出へ塗り変わった」というこどもたちの言葉が心に残っています。

2021年

開催地：駒ヶ嶺小学校

作品共通テーマ【新しい生活様式】



A班 永田指導監督  
「ぶっコロナ」



B班 横井指導監督  
「ヒミツノアイコトバ」



C班 西海指導監督  
「ありがとうのプレゼント」

駒ヶ嶺小学校の6年生と取り組んだ3作品です。コロナ禍で、勉強にも、生活にも、先の見えない不自由が課される中、新しい生活様式が課してくる困難にどのように立ち向かうかが、3作品共通の主題となっているように見えました。すべての作品に現れる、しなやかなユーモアに救われるような気持ちになりました。